未来を創造する　静岡県産業界

県内企業　さらなる飛躍へ

創意工夫でグローバル競争を勝ち抜く

静岡県に集積する楽器メーカーや輸送機器メーカーは、グローバル競争で勝ち残るためにさまざまな創意工夫を日々重ねている。特に楽器メーカーはこのほど各社が新中期経営計画や社長交代を発表しており、2014年3月期は節目の年度となりそうだ。東日本大震災から2年を経て、事業継続計画（BCP）の見直しも進む。輸送機器関連メーカー各社は、円高是正局面においても海外展開を促進し、為替リスクを低減する。

ヤマハと河合が新中計発表、ローランドは社長交代

静岡県浜松市にはヤマハ、ローランド、河合楽器製作所という世界的な楽器メーカーが集積している。楽器の需要は国内は頭打ちだが、中国や東南アジアなど海外では拡大している。各社は新たな需要を求めて、海外展開を加速する。

ヤマハは16年3月期連結決算において営業利益を13年3月期見込み比4・3倍の300億円に引き上げることを柱とした3カ年の新中期経営計画を策定した。売上高目標は同17・8％増の4300億円。ピアノなどの楽器や電子楽器、音響機器を中国などの新興国で拡販。原価低減活動で150億円のコストダウンを図る。設備投資は460億円。これと別に業務用音響機器事業などの買収や資本提携を視野に入れ、特別投資枠として330億円を設定した。

河合楽器製作所は14年3月期から3カ年の中期経営計画を発表した。中国をはじめ新興国でピアノ販売や音楽教室の運営体制を強化。16年3月期に売上高で13年3月期比17・4％増の640億円、営業利益は同約2・5倍の32億円を目指す。設備投資は3年間で約65億円を見込む。

中国では都市部を中心にピアノ専門店を展開。音楽教室なども併設して一体的に事業を拡大する。

一方、電子楽器大手メーカーのローランドは、営業畑出身の田中英一前社長が顧問に退き、技術畑出身の三木純一社長が4月1日に就任する人事を発表した。三木社長はオルガン開発部長やクラシック開発部長を歴任し、同社の創業者である梯郁太郎特別顧問の薫陶を受けた。「創業時のチャレンジ精神を取り戻す」（三木社長）と社内に号令をかけている。

中期経営計画を発表する梅村充ヤマハ社長（左から2人目）

大震災から2年　BCP見直し進む

東日本大震災から2年がたち、改めて震災対策が見直されている。静岡県は従来から東海大地震の震源域とされ、企業や市民の危機感が強い。県内の御前崎市には中部電力の浜岡原子力発電所もある。11年の震災以降、危機意識が一層高まっており、さまざまな取り組みが進められている。

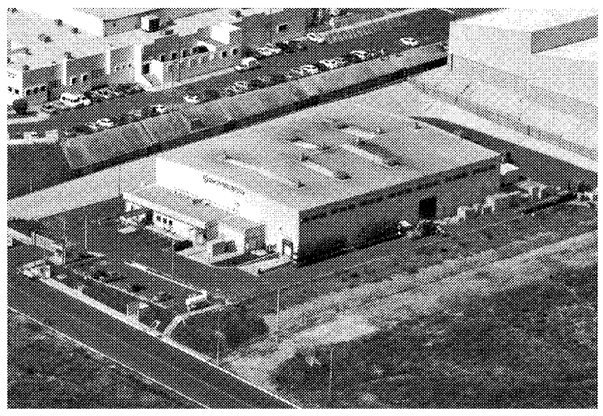
静岡ガスは静岡市駿河区に、地震など災害に強い制震構造の新本社ビルを完成した。BCPの一環で、災害時に災害本部を設置する隣接の本社東館とともに防災拠点として機能する。太陽光発電パネルの設置など太陽光や風、地熱など自然エネルギーを最大限利用する。投資額は約23億円。

スズキは浜松市の「浜松市津波対策事業基金」に今後5年間で5億円を寄付すると発表。浜松市内で会見した鈴木修会長兼社長は「これが起爆剤となり地元の企業・個人が協力してほしい」と述べた。

同基金は地震による津波対策で防潮堤整備を進めるために12年9月に浜松市が設置。3月には浜松商工会議所が会員企業に対し、5年間で50億円の寄付を募っている。また、スズキは以前からこれとは別に、本社が沿岸近くにあることから、津波対策として開発機能などは内陸部に移す計画を公表している。

河合楽器製作所は今後3年以内に竜洋工場（静岡県磐田市）内にあるピアノの技術開発部門を静岡県内陸部へ移転する。浜松市北区にある子会社「カワイ精密金属」の工場敷地内に移す計画。14年3月期中に約9億円を投じ、同工場内に新棟を建設することを検討している。

鈴木修スズキ会長兼社長は浜松市内で会見を開き、震災対策で5億円を寄付すると述べた


日本プラストのメキシコ工場

輸送機器関連メーカー　北米や東南アジアで生産増強

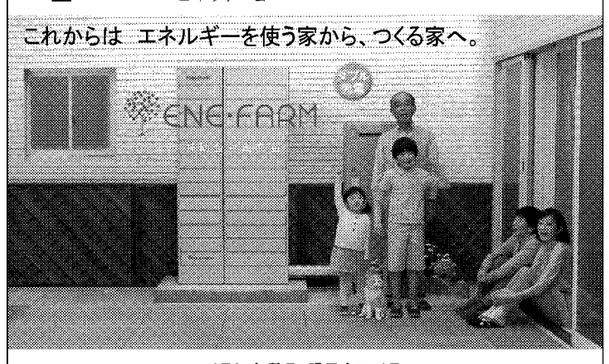
ジャトコはメキシコ・アグアスカリエンテス州に無段変速機（CVT）の第2工場を建設し、14年夏に稼働する。年産能力は40万台。投資額は約200億円。既存の第1工場の年産能力も13年中に現在比約63％増の130万台に増強し、日産自動車などへ供給する。

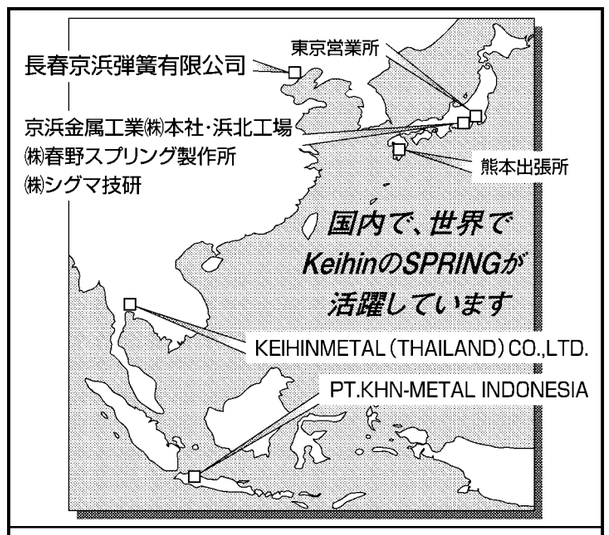
ビヨンズ（静岡県富士市）もメキシコの同州に変速機やエンジンの部品工場を建設し、15年3月に稼働する。メキシコを中心に北米自由貿易協定（NAFTA）圏の日系自動車関連メーカーの現地工場に納入する。

日本プラストは8月をめどに、メキシコ・ケレタロ州に自動車用ハンドルの新工場を建設。既存工場と合わせたメキシコ全体の生産能力は、11年比約70％増の200万―240万台分になる。ホンダと日産自動車の米国とメキシコの工場に納入する。投資額は15億円。

キャタラー（静岡県掛川市）はインドネシア工場（ブカシ県）を稼働し、2輪車向け排ガス浄化用触媒の生産を始めた。順次生産を拡大し、15年に130万個を生産する計画。日系2輪車メーカーの現地工場へ供給する。同社の2輪車用触媒の工場は日本、タイ、中国に続いて4拠点目。

レント（静岡市駿河区）はタイでの産業機器や工具のレンタル事業を拡充する。7月をめどにサムットプラカーン県に営業所を新設。同国では3拠点目で、日系工場や機械メンテナンス企業の進出拡大による需要増を取り込む。拠点拡充により、タイ現地法人のレント・タイランド（バンコク）の14年4月期見込み比40％増を目指す。

家庭用燃料電池
ENE・FARM
エネファーム
これからは　エネルギーを使う家から、つくる家へ。

くらしを考え、明日をつくる。
SHIZGAS
静岡ガス
静岡市駿河区八幡1-5-38
☎(054)284-4141(代)
静岡ガス　検索　ガ、スマート!

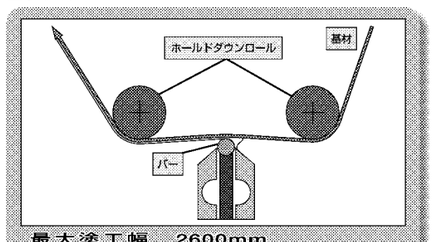
長春京浜弾簧有限公司
京浜金属工業㈱本社・浜北工場
㈱春野スプリング製作所
㈱シグマ技研


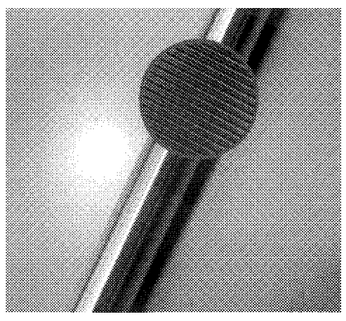
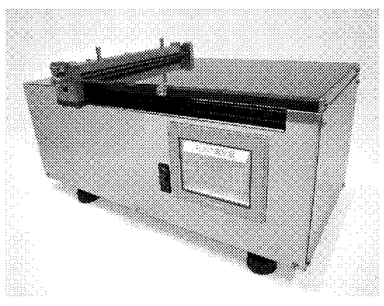
自動車用スプリングメーカー
Keihin 京浜金属工業株式会社
TEL:053-461-4351　E-mail:keihinsp@keihin-metal.co.jp
URL:http://www.keihin-metal.co.jp

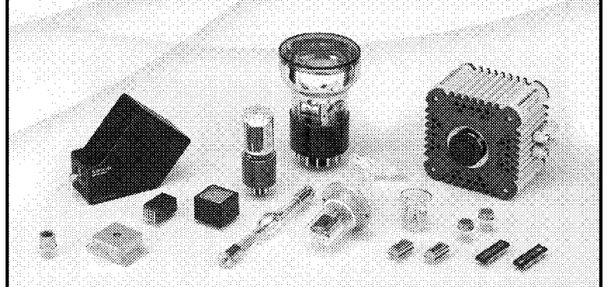
CLEAN & SAVE ENERGY
環境に配慮した商品及びサービスの提供を行い、地球環境の保全に邁進します。

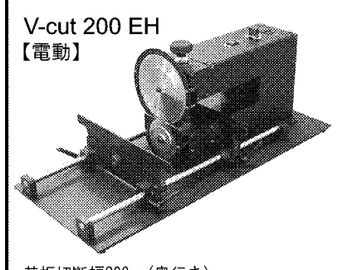
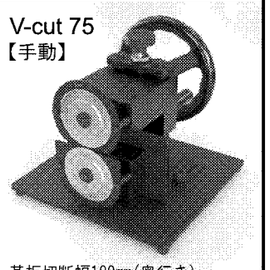
TOKAI 工業用事業部
本社／静岡市葵区常磐町2-6-8 TEL:054-273-4819 FAX:054-273-4827

ネジと関連商品・加工品全般・販売
武岩産業株式会社
〒424-0056　静岡県静岡市清水区半左衛門新田183-3
TEL.054(346)1259
FAX.054(346)3479
E-mail:t1259@gol.com

バーコータのことならおまかせ
バーコータの進化形 DMコータ
パイロットコータでテスト可能
薄く　1.5g／㎡(wet)の超薄膜塗工を実現
やさしく　セミクローズド方式により溶剤揮発量を軽減　塗工液の循環量を軽減
コンパクト　既設設備への改造、増設が容易　液供給と計量を一体化


最大塗工幅　2600mm
速度　10～200m／min
基材　フィルム、紙、その他
塗工量　1.5～17.0g／㎡(wet)
粘度　150mPa・s以下
塗料　水系／有機溶剤系
ワイヤーバー

■ワイヤー径0.025mmの極細線から1.5mmまで幅広く対応
極細線バーの開発により、お客様の新しい要求にも対応可能です。
製品開発へのお手伝い
卓上型バーコータ試験機
ちょい塗りくん

株式會社小林製作所
本社・工場／〒416-0921 静岡県富士市水戸島2-1-1 TEL0545(61)2400㈹ FAX0545(61)5229
URL http://www.kobayashieng.co.jp

60th Anniversary
HAMAMATSU
PHOTON IS OUR BUSINESS
2013年9月、弊社は創立60周年を迎えます。

浜松ホトニクス株式会社
〒430-8587 浜松市中区砂山町325番地の6　日本生命浜松駅前ビル
TEL 053-452-2141(代表)　FAX 053-456-7889　www.hamamatsu.com

プリント基板分割機
動画公開中! ▶
実装プリント基板のV溝カットが 簡単にできます。
V-cut 200 EH
【電動】

基板切断幅200㎜(奥行き)
¥418,000
V-cut 75
【手動】

基板切断幅100㎜(奥行き)
¥168,000
基板ストレスが小さく、初心者でも安心カット!
Mechanics & Electronics　技術は人にやさしく
Technical Support
株式会社 テクニカルサポート
〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町テクノランド7000-71
TEL(053)523-2231㈹　FAX(053)523-2271
http://www.t-support.co.jp/

ヤマハ株式会社

心躍る新しい時間を、あなたに。
YAMAHA
Revs Your Heart
www.yamaha-motor.co.jp/
感動創造企業
ヤマハ発動機株式会社